

平成29年度
九州大学大学院工学府博士後期課程
学生募集要項

(4月入学者用・春季実施試験)

Spring 2017 Applicant Guidelines for Doctoral
Programs of the Graduate School of Engineering,
Kyushu University

(Academic Year from April, 2017)

アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー	1頁
一般選抜	2～15頁
社会人特別選抜	16～31頁
願書等用紙	35頁以降

アドミッションポリシー

工学は、物理学や化学などの基礎科学分野における原理と法則をもとに人類文明の持続的発展を恒久的に探求する学問です。本学府では、工学を通して人類文明の持続的発展に貢献できる研究者・技術者・教育者の育成を目的としています。

本学府での就学を目指す学生には次のことが期待されます。

- 基礎知識を踏まえて応用研究に取り組む意欲のある学生
- 新しい学問分野に挑戦する積極的な学生
- 忍耐力をもって真実探求を推進できる学生
- 技術者としての倫理観を有する学生

カリキュラムポリシー

工学府には、物質創造工学専攻、物質プロセス工学専攻、材料物性工学専攻、化学システム工学専攻、建設システム工学専攻、都市環境システム工学専攻、海洋システム工学専攻、地球資源システム工学専攻、エネルギー量子工学専攻、機械工学専攻、水素エネルギーシステム専攻および航空宇宙工学専攻の12専攻を置き、教育研究を通してエネルギー・物質・環境・システムに関する深い専門知識と探求創造能力を教授育成するとともに、高い倫理観と国際性をもって工学に携わる研究者・技術者・教育者を組織的に養成します。

本学府では、この目標を達成するため、以下のような教育を行います。

- 基礎から応用にわたる高度な専門知識についての体系化された教育
- 哲学、倫理、政治、経済、国際関係等に関する広い知識教育
- 豊かな人間性、課題探求・解決能力、創造性を育む教育

※各専攻のアドミッションポリシー及びカリキュラムポリシーは、工学府ホームページに掲載しています。

(<http://www.eng.kyushu-u.ac.jp/>)

本学府では、技術革新の進展や産業構造の変化等を背景として、社会人の再教育など大学院に対する社会の要望にこたえて、官公庁、民間企業等において研究に従事した経験のある者を対象に特別選抜を行う。

Admission Policy

Engineering is the study and investigation, based on fundamental scientific principles such as physics and chemistry, for the sustained development of human civilization. The Graduate School of Engineering aims to cultivate researchers, engineers, and educators who can contribute to the sustained development of human civilization through engineering.

Students who wish to study in the Graduate School are expected to have the following:

- A desire to undertake applied research based on fundamental knowledge
- A positive attitude towards learning new fields of study
- A steadfast ability to advance the pursuit of truth
- A strong sense of engineering ethics

Curriculum Policy

The Graduate School of Engineering has been organized into the following advanced departments: Chemistry and Biochemistry, Materials Process Engineering, Materials Physics and Chemistry, Chemical Systems and Engineering, Civil and Structural Engineering, Urban and Environmental Engineering, Maritime Engineering, Earth Resources Engineering, Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering, Mechanical Engineering, Hydrogen Energy Systems, and Aeronautics and Astronautics. The aim of each department is the promotion of a deep expertise and creative ability concerning energy, materials, the environment, and systems, as well as the systematic training of researchers, engineers, and educators with high ethics and internationalism.

To achieve these aims, the Graduate School provides education on the following topics:

- Systematic and advanced specialized knowledge, ranging from fundamental principles to applications
- Broad knowledge concerning philosophy, ethics, politics, economics, international relations, and so on
- Development of a creative and well-rounded human nature, and the ability to search for and solve problems

※ The Admission Policy and Curriculum Policy of each department are shown at the URL of the Graduate School of Engineering. (<http://www.eng.kyushu-u.ac.jp/>)

The Graduate School of Engineering executes a special examination for individuals with research experience who are employed by government offices, companies, etc. at the time of application. This examination was established by the Graduate School to address the changing needs of society, such as the continuing education of working personnel to better understand recent technological innovations, and changes in the structure of industry.

平成29年度 九州大学大学院工学府博士後期課程学生募集要項 (社会人特別選抜)

1. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者で、官公庁、民間企業等において研究に従事した経験のある者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成29年3月31日までに有する見込みの者
 - (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成29年3月31日までに授与される見込みの者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成29年3月31日までに授与される見込みの者
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成29年3月31日までに授与される見込みの者
 - (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成29年3月31日までに授与される見込みの者
 - (6) 外国の学校、学校教育法施行規則第156条第3号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - (7) 文部科学大臣の指定した者
 - 1) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - 2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - (8) 本学府教授会において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者
- ※ 上記(7)又は(8)により出願する者は、事前に出願資格の審査を受けなければならない。

2. 募 集 人 員

各専攻 若干名

3. 出願手続及び出願書類

1 出願者は、次の書類を、指導を希望する教員と相談の上、九州大学工学部等教務課学生係に持参又は郵送すること。

郵送による場合は、必ず書留郵便として封筒表面に「博士後期課程願書（工学府）社会人」と朱書する。なお、機械工学専攻、水素エネルギーシステム専攻の出願者は、平成28年12月23日（金）までに、P26に示す専攻長へ電子メールまたはFAXにより出願する予定である旨連絡すること。

2 出願書類

- (1) 願 書：本学府所定の用紙に志望専攻名、希望研究題目及び履歴事項等をもれなく記載すること。
- (2) 照 合 票 ・ 受 験 票：本学府所定の用紙に、所要事項を記入の上、写真を貼ること。
- (3) 修士学位論文（写）：出願資格(6), (7), (8)により出願する者は提出を必要としない。
- (4) 研究業績概要調書：本学府所定の用紙に本人が記入のうえ、学术论文等は別刷又はその写しを添付し、研究発表の場合は発表論文、要旨又は概要を添付すること。
- (5) 研 究 計 画 書：入学後に行う研究計画を本人が作成すること。（様式随意）
- (6) 修了（卒業）証明書：最終学校が作成したもの。
- (7) 成 績 証 明 書：最終学校が作成、厳封したもの。
- (8) 受験票返送用封筒：氏名、宛先及び郵便番号を明記した長形3号封筒（縦23.5cm×横12cm）に氏名、あて先及び郵便番号を明記し、92円の切手を貼る。
- (9) 住 所 票：本要項に綴込みの用紙（シール）に志願者の住所（入学願書票の記載と同じ）・氏名を記入すること。
- (10) 出願資格認定申請書：本学府所定の用紙に本人が記入すること。なお、出願資格(7), (8)により出願する者だけが提出する。
- (11) パスポート(写)・在留カード(写)：外国人留学生のみ提出すること。
- (12) 入学検定料原符：30,000円

3 入学検定料 30,000円

入学検定料は次の方法で平成29年1月4日（水）以降に納付すること。銀行振込みの場合は「電信扱」とすること。

1) 日本国内在住者

(A) 銀行振込み

本要項に綴込みの【振込依頼書】の太枠で囲まれている記入欄に、必要事項を全て黒ボールペンで正確・明瞭に記入し、A・B・C票を切り離さずに銀行口座へ持参し、振込手続きをすること。振込みを済ませたら、銀行窓口で返還された書類のうち、【「九州大学」入学検定料振込金受付証明書（C票）】を本要項に綴込みの【入学検定料原符】の「九州大学」入学検定料振込金受付証明書貼付欄に貼付し、併せて同原符に志望学府・住所・氏名・連絡先（TEL）を記入の上、出願書類として提出すること。【振込依頼書】、【入学検定料原符】記入の際は、本要項巻末の「記入上の注意」を参照すること。

（注）○ ゆうちょ銀行・ATM・インターネットでの振込はできない。

なお、三井住友銀行本支店にて振込をする場合の振込手数料は無料となるが、他行から振込む場合は、振込手数料は志願者が負担することとなる。

(B) コンビニエンスストア支払い（日本国内の店舗のみ）

- (1) 次のコンビニで支払ってください。セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート
- (2) 詳しくは、32ページを参照してください。

2) 日本国外在住者

入学検定料は、平成29年1月4日（水）以降に支払うこと。

(A) 銀行振込み

入学検定料は、振込用紙の氏名欄に志望専攻とコード：3TEを記入のうえ、「電信扱」で下記の銀行口座に振り込むこと。

- (1) 必ず日本円で送金してください。
- (2) 送金時にかかる全ての手数料を負担してください。

振込先

名称	九州大学
所在地	〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1

振込先口座

銀行	三井住友銀行
支店名	福岡支店
住所	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目1-1
口座番号	7119240
SWIFTコード	SMBCJPJT

(B) クレジットカード

- (1) 次のカードを使用してください。Visa, Master Card, JCB, American Express, 銀聯ネット, Alipay（支付宝）
- (2) 次のホームページで手続きしてください。 <https://e-shiharai.net/english/>
- (3) 詳しくは、32ページを参照してください。
- (4) まず、九州大学大学院を選び、次に工学府を選んでください。

4 提出先

九州大学工学部等教務課学生係

〒819-0395 福岡市西区元岡744番地

4. 願書受付期間

平成29年1月13日（金）から1月19日（木）午後5時まで（郵送の場合も同日同時刻までに必着のこと）

5. 出願資格の事前審査

出願資格(7), (8)により出願する者は, 事前に資格審査を行うので, 指導を希望する教員と相談の上, 出願書類の(1), (2), (4)~(11)を平成29年1月4日(水)から1月10日(火)正午までに, 九州大学工学部等教務課学生係に提出すること。

なお, 結果については, 1月16日(月)までに, 専攻長から申請者あて通知する。

また, 専攻長から資格審査合格の通知を受けた者は, (12)の入学検定料原符を九州大学工学部等教務課学生係へ提出すること。

6. 入学試験日時及び選考方法

専攻名		試験日	2月22日(水)		
			時 間	試験科目等	試験場
物質科学工学 専攻群	物質創造工学専攻	9:00~	口頭試問 (これまでの研究成果 及びこれからの研究 計画等に関する試問)	九州大学工学部 (伊都地区)	
	物質プロセス工学専攻				
	材料物性工学専攻				
	化学システム工学専攻				
地球環境工学 専攻群	建設システム工学専攻				
	都市環境システム工学専攻				
	海洋システム工学専攻				
	地球資源システム工学専攻				
	エネルギー量子工学専攻				
機械航空工学 専攻群	機械工学専攻 ・機械工学コース				
	水素エネルギーシステム専攻 ・グローバルコース				
	航空宇宙工学専攻				

7. 合格者発表

平成29年3月7日（火）午前9時頃に本学工学部等教務課ホール内掲示板に発表するとともに、合格者に文書で通知する。

なお、合格者発表に関する電話等による問い合わせには一切応じない。

8. 入学時期

平成29年4月1日

9. 入学手続

入学手続書類は、合格者あて平成29年3月7日（火）頃送付するので、所定の期日までに入学手続を完了すること。

入学手続期間：平成29年3月9日（木）から3月17日（金）まで

1 入学手続の際に納付する経費等

1) 入学料 282,000 円（予定）

2) 授業料 前期分 267,900 円（予定） 年間 535,800 円（予定）

（注）上記の納付金額（入学料・授業料）は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

10. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があり、そのための相談を受け付けている。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもあるので、出願前できるだけ早い時期に「13. 問い合わせ先」まで相談すること。

11. 長期履修制度について

工学府では、学生が職業を有する、或いは障害がある等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度を導入している。

この制度の適用を申請し認められた場合、標準修業年限分の授業料を長期履修の年数で除した額を毎年納入することになる。

なお、手続等の詳細は、入学手続時に通知する。

12. そ の 他

- 1 募集要項（願書）等の郵送を希望する者は、封筒表面に「大学院工学府博士後期課程学生募集要項（社会人特別選抜）（4月入学者用）請求」と朱書きし、郵便番号、住所、氏名を明記し、郵便切手250円を貼った返信用封筒（角2型）を同封して、九州大学工学部等教務課学生係に申し込むこと。なお、出願資格(7)、(8)に該当する場合は、その旨書き添えること。
- 2 願書受理後は、記載事項の変更は認めない。また、検定料の払い戻しは行わない。
- 3 受験票が未着の場合は、試験当日までに工学部等教務課学生係に申し出ること。
- 4 自然災害等による入試日程への影響が懸念される場合には、本学府インターネット web サイトのトップページで実施についての告知をするので確認をすること。
- 5 機械工学専攻、水素エネルギーシステム専攻の出願者は、事前に出願の意思を下記専攻長あて連絡すること。

専 攻	専 攻 長	メールアドレス	FAX
機械工学	雉本信哉 教授	k-senkocho@mech.kyushu-u.ac.jp	092-802-0001
水素エネルギーシステム	杉村丈一 教授	k-senkocho@mech.kyushu-u.ac.jp	092-802-0001

13. 問い合わせ先

〒819-0395 福岡市西区元岡744番地
九州大学工学部等教務課学生係
電話 (092) 802-2723
e-mail koggakus@jimu.kyushu-u.ac.jp

【備考】出願書類における個人情報の保護について

- (1) 出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜のほか、次の目的で利用します。
 - ① 合格者の住所・氏名等を入学手続業務。
 - ② 入学者選抜で利用した成績等の個人情報は、個人が特定できないかたちで本学府における入学者選抜に関する調査研究。
- (2) 出願書類に記載の個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

平成28年11月

九州大学大学院工学府
URL <http://www.eng.kyushu-u.ac.jp/>

九州大学大学院工学府博士後期課程社会人入学案内

本学府では、技術革新の進展や産業構造の変化等を背景として、社会人の再教育など大学院に対する社会の要望にこたえて、官公庁、民間企業等において研究に従事した経験のある方々に、平成6年度から博士後期課程の門戸を開いています。

ここでは、入学後の授業科目の履修、修了要件、入学以前（入学後）の実績の評価方法等についてお知らせします。

1. 授業・履修単位等

博士後期課程では、授業科目を履修するとともに、指導教員による博士学位論文作成等に関する研究指導を受けます。履修単位については、各専攻ごとに、専攻授業科目について4単位以上と、その他の関連授業科目についての単位をあわせて10単位以上修得するよう定められています。

2. 大学以外での研究

指導教員が研究上必要と認める場合は、大学以外の機関において研究に従事することができます。

3. 修了要件

博士課程の修了要件は、博士課程に3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、指導教員による必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査、及び最終試験に合格することです。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた方については、博士課程に1年以上在学すれば足りるものとされています。

4. 入学以前の実績及び入学後のスクーリング

入学以前の実績及び入学後のスクーリングに対しては、適切な評価のもとに授業科目の単位として認定されますので、P30を参照してください。

博士後期課程における社会人学生の入学以前の実績及び 入学後のスクーリングの実績の評価について

1. 入学以前の実績は授業科目として認定されます。その基準などについては、入学を希望する専攻又は関連する指導教員に問い合わせてください。

2. 入学後のスクーリングについては、下記のように様々なメニューが用意されています。

(1) 高度な専門知識の修得

大学院で開講されている講義科目を受講することにより、単位を修得することができます。この際、関連する専門書や文献を読んでレポートにまとめることを履修の一部として加えることも可能です。

(2) 幅広い専門知識の修得

講義科目の受講には、所属する専攻以外の講義科目も含めることもできます。この中には、関連する学問分野の学部の科目を受講することも可能です。

(3) 発表及び討論能力の養成

専攻した学問分野における最近の研究の動向に関して調査を行うことによって、単位を修得することができます。この際、テーマは博士論文テーマと直接関連がないことが望まれます。調査結果はレポートにまとめて提出し、教員グループの前で発表し試問を受けます。特に、課題設定、論理的整理及び討論能力について評価されます。

(4) 課題発見及び提案能力の養成

新たな研究を開始することを念頭に、研究テーマの提案を行うことにより単位を修得することができます。テーマは、博士論文のテーマと直接関連しない領域であっても構いません。目標とする学問分野の研究について背景をまとめ、具体的な実験計画の立案、結果の予測及び考察結果をレポートにまとめて提出し、教員グループの前で発表し、試問を受けることにより、作業量や内容にふさわしい単位が与えられます。

(5) 研究展開及び発表能力の養成

博士論文作成の課程で、定期的に教員グループの前で中間報告を行い、試問を受けることによって単位を取得することができます。この際、適切な文献の調査やコミュニケーションの能力などについて評価が行われます。学会発表や学術論文公表の機会を中間報告の場として利用することもできます。

(6) その他

この他、専攻の特色を生かしたメニューが用意されています。

九州大学 コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

本学HP
からも
アクセス
できます！



<https://e-shiharai.net/>



- ※番号取得後に入カミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。
- ※クレジットカード・Alipay国際決済・銀聯ネットは決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。
- ※確定画面に表示される番号をメモしてください。

2 お支払い

クレジットカード Alipay・銀聯 でお支払い

※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、「基本情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。

基本情報入力画面で、支払に利用するカードを選択

画面の指示に従い、支払手続を行ってください。

お支払い完了です。下記の手順に従って、申込内容照会結果を印刷してください。

コンビニエンスストアでお支払い

- 入学検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
- 店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

【払込票番号 (13ケタ)】

●レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。

【オンライン決済番号 (11ケタ)】

各種支払い

11ケタの番号をお持ちの方

オンライン決済番号を入力してお支払い

【オンライン決済番号】を入力

店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。

【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

各種サービスメニュー

各種代金・インターネット受付(紫のボタン)

各種代金お支払い

マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】を入力

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

代金支払い

各種代金お支払い

番号入力画面に進む

【お客様番号】【確認番号】を入力

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

3 出願

【クレジットカード・Alipay・銀聯でお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して出願書類に同封してください。

- <注意>
プリンタのある環境が必要です。携帯電話・スマートフォンでお申込みされた方は、プリンタのある環境でご利用ください。
※クレジットカードでお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。

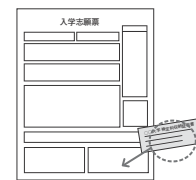


【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「取納証明書」部分を切り取り、入志願票の所定欄に貼る。



- ※「取納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。「取納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



- ※コンビニでお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。

4 注意事項

- 出願期間を要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の場合は23:30までです。
- 「入学検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた入学検定料は返金できません。
- 入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- Alipay、銀聯でお支払いの方は、パソコンからお申込みください。(携帯電話からはお支払いできません)